

LIONBRIDGE



翻訳依頼の処理: SMART MT™ を使用した場合

本ガイドでは、Smart MT を使用した場合の翻訳プロセスとデータの取り扱いの概要をステップごとに説明します。



翻訳依頼プロセスを解説

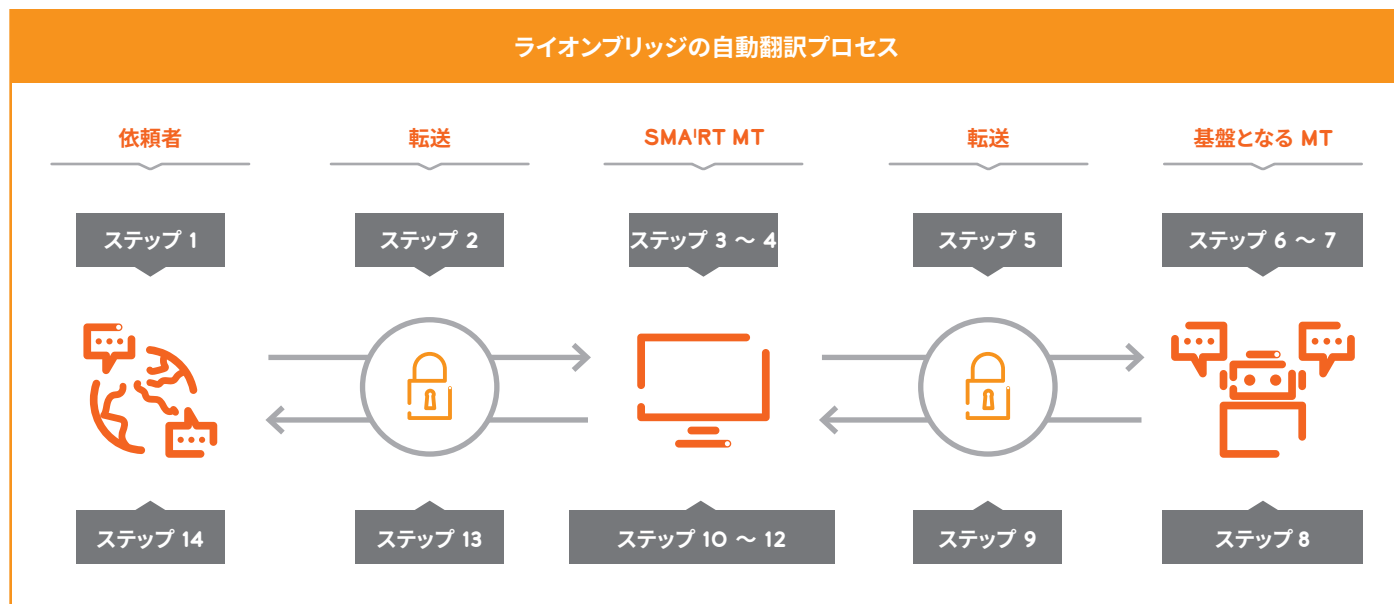
本ドキュメントでは、翻訳依頼が依頼者のアプリケーションから Smart MT に送信されて処理される仕組みを説明します。

ライオンブリッジではお客様のデータとプライバシーの保護を最重要課題として捉えており、最大限のデータセキュリティとプライバシー保護を備えた**機械翻訳 (MT)** ソリューションとワークフローをゼロから設計・構築しました。ここでは、当社の翻訳ソリューションとワークフローの仕組みを詳しくご紹介します。

翻訳プロセス

翻訳処理を複数のステップで迅速かつシームレスに、そして安全に実行します。

ライオンブリッジの自動翻訳プロセス



翻訳プロセス

以下のステップは、翻訳プロセスの概要を発生順に示したものです。

1. 翻訳依頼が Sma'rt MT に送信されます。

ユーザーが翻訳元の言語であるソース言語の資料を選択し、Sma'rt MT での翻訳を依頼します。

2. 翻訳依頼が HTTPS 経由で Sma'rt MT に送信されます。

翻訳依頼は暗号化され、HTTPS 経由で Sma'rt MT アプリケーションプログラミング インターフェイス (API) に送信されます。

3. Sma'rt MT が翻訳依頼を受信し、解析します。

Sma'rt MT は翻訳依頼を解析し、関連付けられている Sma'rt MT プロファイルを探して、そのプロファイルのパラメータに従って翻訳プロセスを開始します。Sma'rt MT プロファイルには、事前処理のステップ、サードパーティ製機械翻訳 (MT) システムに関する情報、事後処理のステップが含まれています。

4. Sma'rt MT がソース言語資料の事前処理を行います。

Sma'rt MT は、ソース言語資料に対し、Sma'rt MT プロファイルの指定どおりに、個人を特定できる情報 (PII) を隔離するなどの事前処理を行います。

5. Sma'rt MT が翻訳依頼を作成して HTTPS 経由でサード

パーティ製 MT システムに送信します。Sma'rt MT は、ソース言語資料を使用して翻訳依頼を作成し、Sma'rt MT プロファイルに関連付けられているサードパーティ製 MT システムに HTTPS 経由で送信します。Sma'rt MT と、統合されているすべてのサードパーティ製 MT システムとは、暗号化された HTTPS 接続を介して通信します。

6. サードパーティ製 MT システムが Sma'rt MT 翻訳依頼を受け取って解析します。

サードパーティ製 MT システムは Sma'rt MT から翻訳依頼を受け取りますが、ここでわかるのは依頼の送信元がライオンブリッジであることだけです。翻訳依頼には、本来の依頼者を特定する情報は含まれていません。

7. サードパーティ製 MT システムが翻訳を実行します。

サードパーティ製 MT システムは翻訳依頼内の引数 (パラメータ) に従って翻訳を実行します。

8. サードパーティ製 MT システムがメタデータを記録し、その他の関連データをすべて除去します。

サードパーティ製 MT システムは、ライオンブリッジのアカウントに関連した使用状況を測定するために、翻訳依頼ごとのメタデータを収集します。メタデータの収集は、依頼の種類 (翻訳または言語の特定など) およびソース言語資料の文字カウントに限定されます。

9. サードパーティ製 MT システムが翻訳結果を作成して Smart MT に送信します。 サードパーティ製 MT システムは、暗号化された HTTPS 接続を介して、翻訳された資料を Smart MT に送信します。Smart MT 翻訳依頼に関連付けられているすべてのデータは、前述のメタデータを除き、即座にサードパーティ製 MT システムのメモリから消去され、いかなるストレージデバイスにも書き込まれることはありません。また、翻訳依頼、ソース言語資料、翻訳結果がサードパーティ製 MT システムに保存されることもありません。

10. Smart MT がサードパーティ製 MT システムから翻訳結果を受け取ります。 Smart MT がサードパーティ製 MT システムから翻訳結果を受け取ります。

11. Smart MT が翻訳された資料に対して事後処理を行います。 Smart MT は、Smart MT プロファイルに含まれている事後処理ステップを実行します。事後処理ステップの例としては、翻訳された資料への PII の再挿入などがあります。

12. Smart MT がメタデータを記録し、トランザクションデータを消去します。 Smart MT に送信された翻訳依頼ごとにメタデータが収集されますが、これはアカウントの使用状況を正確に測定する目的に限定されます。収集されるメタデータに含まれるのは、依頼の種類（翻訳または言語の特定など）、使用された Smart MT プロファイル、依頼が送信されたアプリケーションの種類、ソース言語資料の文字カウント、言語ペアおよび翻訳依頼の方向（スペイン語から英語など）、依頼のタイムスタンプについての情報などです。

メタデータには、ソース言語資料、翻訳結果、または依頼者に関する PII は含まれません。収集されたメタデータは、Smart MT アカウントのプロファイルと使用状況を追跡して使用状況レポートを作成する目的のみに使用されます。

13. Smart MT が翻訳結果を作成して依頼者に送信します。 Smart MT は、翻訳された資料を暗号化された HTTPS 接続を介して依頼者に転送します。

14. 依頼者が Smart MT から翻訳結果を受け取ります。 Smart MT は翻訳をユーザーのアプリケーション環境に返します。



役立つ用語

Smart MT: ライオンブリッジが提供する SaaS 機械翻訳ソリューション。Smart MT では、ワークフローと翻訳の自動化を通じて翻訳プロセスにオートメーションを導入します。安全性と柔軟性に優れ、ニーズに合わせて構成可能なこのソリューションにより、ローカリゼーション全体をスピードアップすることができます。

Smart MT は、複数のサードパーティ製ソフトウェアアプリケーション (Microsoft Outlook など)、多数のチャットプラットフォーム、チケットシステム、コンテンツ管理システムに統合ことができ、これによって当社が掲げる「Localize everything™」、つまりあらゆるコンテンツのローカライズを実現できる環境が整います。

HTTPS: Hypertext Transfer Protocol Secure の略語。ネットワークで接続された 2 台のコンピューター間での Transport Layer Security を使用した通信のコンテンツを暗号化する通信メソッドです。これにより、別のコンピューターで通信を傍受して読み取ることができなくなります。

ノートレース処理: 依頼者から提出されたデータに対して計算タスクを実行する方法。原文データまたは計算タスクの結果は、依頼者に返された後は保持されません。

依頼アプリケーション: ユーザーが Smart MT との間で翻訳の依頼や受け取りに使用できるソフトウェア。

依頼者: Smart MT の翻訳を依頼する人、または自動化されたエージェント。

ソース言語資料: 依頼者が翻訳のために Smart MT に送信する原文テキスト。

サードパーティ製 MT システム: ライオンブリッジが Smart MT と組み合わせて使用する複数の MT サービスのすべて。



ライオンブリッジについて

ライオンブリッジはさまざまなお客様のために架け橋を築き、障壁を打ち破ってあらゆる課題を解決に導きます。25 年以上、350 を超える言語で翻訳とローカライゼーションのソリューションを提供し、お客様の企業が世界中の顧客とつながるための支援をしてきました。当社独自のワールドクラスのプラットフォームを通じて、世界各地で活躍する多数の専門家のネットワークを活用し、さまざまなブランド・企業と提携して文化的に豊かなエクスペリエンスを生み出しています。言語のプロフェッショナルとして、ライオンブリッジは優秀な人材と洗練されたマシンインテリジェンスの能力を活用し、お客様の顧客の心に響くメッセージをお届けします。米国マサチューセッツ州ウォルサムに本社を置くライオンブリッジは、世界 23 か国にソリューションセンターを設けています。

詳しくはこちら

[LIONBRIDGE.COM](https://www.lionbridge.com)

LIONBRIDGE

© 2022 Lionbridge. All Rights Reserved.